

流通事業者におけるレジ袋収益金等の使途について

1 イオン

- 有料レジ袋収益金（H21年度） 約1億2,520万円
 - ・CO2排出権を購入し政府に無償譲渡 約6,260万円
 - ・地域社会に寄付 約6,260万円（189団体）
自治体や市民団体などを通じて、環境保全や地域貢献のための活動に役立てる

※ レジ袋収益金

有料レジ袋販売代金から仕入価格、消費税を差し引いた差額

$$\boxed{\text{有料レジ袋販売代金}} - \boxed{\text{仕入価格}} - \boxed{\text{消費税}}$$

（出典：イオンHP）

2 コープこうべ

○ レジ袋代金

レジ袋代金（1枚5円）は、すべて環境の取り組みに活用

	H20	H21	H22	H23
集まった代金(円)	52,296,980	47,318,220	44,921,300	42,980,360

○ レジ袋代金の使い道

次の観点を大切に、できるだけ使途を絞り込んで活用

- ① 社会的に有益である
- ② 未来に貢献する継続性のあるもの
- ③ 組合員の環境意識を高め、効果的な環境活動に結びつく

（レジ袋代金を活用した取組）

- ・ 西宮市にある「コープの森・社家郷山」の森林整備活動と、現地をフィールドにした環境学習。
- ・ マイバッグ運動の啓発のため、新加入組合員へのプレゼントバッグを作成。
- ・ 太陽光パネルやコープミニ看板照明のLED化など事業所への省エネ設備導入により、組合員の身近な環境学習を支援。
- ・ リサイクル回収品の処理・運搬費用や容器包装リサイクル法再商品化委託料金の一部に充当。
- ・ エコファーム視察学習と学習素材・プログラムの開発。

（出典：コープこうべHP）